

# 令和4年度第3回中仙地域協議会会議録

令和4年10月18日

中仙地域協議会

# 令和4年度第3回中仙地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	2
■協議	3
(1) 道の駅なかせん拠点構想について	3
(2) 東部地区地域協議会合同研修会及び交流会について	4
■報告	5
(1) 令和4年度地域枠予算活用事業について	5
(2) 中仙支所各課所管の事務事業等について	5
■その他	6
■閉会	7
■署名	8

■開催日時：令和4年10月18日（木曜日）午後2時

■開催場所：中仙支所2階 第21会議室

■出席委員：13名

伊藤 悟、遠藤 まき、熊谷 壽男、小松 京子、小松 正樹  
今野 貴美子、佐川 晃、高橋 和政、高橋 和美、高橋 強  
高橋 朝夫、田口 馨、三浦 和則

■欠席委員：2名

傳 農 百合子、畠 本 きよ

■出席職員：9名

田畑 睦子（中仙支所長兼地域活性化推進室長） 鈴木 真紀子（市民サービス課長）  
藤原 喜文（農林建設課長） 高橋 千秋（中仙公民館長）  
新山 待子（市民サービス課参事） 草薨 琢哉（市民サービス課参事）  
佐々木 秀子（中仙公民館参事） 長谷川 祐城（地域活性化推進室副主幹）  
門脇 友梨華（地域活性化推進室主事）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協議
  - （1）道の駅なかせん拠点構想について
  - （2）東部地区地域協議会合同研修会及び交流会について
- 6 報告
  - （1）令和4年度地域予算活用事業について
  - （2）中仙支所各課所管の事務事業等について
- 7 その他
- 8 閉 会

---

(午後2時00分 開会)

○事務局（地域活性化推進室） 開会を宣言

○高橋朝夫中仙地域協議会長（以下「会長」と表記）

皆さん、紅葉が真っ盛りになってきました秋晴れの天気の良いときにお集まりいただきましてありがとうございます。田んぼのほうも皆さん終わって、ひと段落しているところかなと思います。これからまだ畑の始末やらあると思いますが、今日午後のこの時間に議題にありますことを検討していただきたいと思います。簡単にはなりますがよろしくお願ひします。

○田畑支所長（以下「支所長」と表記）

本日はお忙しい中、「第3回中仙地域協議会」にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。委員の皆様には、日ごろより市民と行政の協働のまちづくりの推進にご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。また、今月1日に開催された、全体研修会「大仙アカデミー」にご出席いただきまして、重ねて御礼申し上げます。

はじめに、この後のイベント・行事についてお知らせします。

4年ぶりの開催となります「全国ジャンボうさぎフェスティバル」は、今週の土日2日間の開催予定です。コロナウイルス感染対策のため、規模を縮小しておりますが、以前のような賑わいを期待しております。安全対策をとりながら実施いたしますので、皆様のご来場をお待ちしております。

また、今月29日から11月4日まで、18年ぶりに「秋田県種苗交換会」が大曲を会場に開催されます。大仙市としては初めての開催です。ご承知の通り大規模なイベントですので、こちらもご来場にあたりましては、感染対策に留意の上、お楽しみいただきたいと存じます。

さて、先週、中仙地域の自治会連合会理事会が開催されまして、先に出されていたご要望やご意見に対する、市の回答や対応方針について報告いたしました。すぐに解決できないご要望については、予算を伴うものや、国や県との調整が必要なものなどありますので、今後の事業に生かしてまいりたいと存じます。

本日は、来週市長プレゼンがあります「道の駅拠点構想」について、今年度の進捗及び来年度の動きなどを含めて説明させていただきます。

また、各課の事業進捗の報告の他、自治会連合会との合同研修会についても提案させていただきますので、ご意見いただきますようお願いいたします。

最後になりますが、地域が抱えている課題の解消に向けて、地域が元気になるよう取り組んで参りますので、引き続きお願い申し上げます。あいなさつとさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願ひいたします。

○会長 それでは次第4の「会議録署名委員の指名」に入ります。中仙地域協議会運営規程第7条第2項により、議長が指名することとなっております。今回は伊藤悟委員、高橋

和美委員にお願いいたします。

それでは次第5「協議」に入ります。「(1)道の駅なかせん拠点構想について」事務局より説明をお願いします。

#### ○事務局（地域活性化推進室）

資料に基づき説明

○会長 ありがとうございます。拠点構想推進委員会には当協議会から遠藤さんにご参加していただき、ご難儀をおかけしております。また、長谷川さんや門脇さんは最近テレビにも出て、中仙の顔として活躍しておりますのでこちらも応援していただきたいと思えます。さて、ただいま事務局から説明がありましたが、ご質問等ございませんか。

○遠藤まき委員 この間、推進会議に参加したときに中仙中学校の生徒さんと校長先生がご参加されていたのですけれども、その時に委員の方から中学生の皆さんは道の駅なかせんを利用しますかと質問されていて、行きますと答えていました。どうやってくるのと聞かれたときに、中学生の皆さんは自転車を利用して道の駅に来ているというお話をされていました。そういうことであれば、自動車だけでなく、自転車の駐輪スペースがあってもいいのかなど。中学生や近隣の人たちがどのくらいの頻度で自転車で道の駅に来るのかなとも思いますが、検討のひとつに入れてもらえればいいかと思いました。

○佐川晃委員 今回の遠藤委員のご提案は非常に良い提案なのですが、いちいち大々的にやりましょうと検討しなくても良いとも思う。中学生たちが道の駅を利用するというのがわかっているのであれば、さっと整備して良いと思う。0円でできるものではないけれど、駐輪場の案内をつけるくらいならば軽微にできるものだと思う。

○遠藤まき委員 個人の感想になるが、中学生が道の駅を利用しているというのはちょっと驚きだった。しかも自転車でさっと寄っていくという話だったので、道の駅の利用って私たちだけでなく、子どもたちも利用しているんだなと再確認したという状況でした。

○会長 私もいま遠藤さんに言われてそうなんだと意外な面を見せていただいたように感じます。これについては推進会議にこれからかけられていくことになるでしょうから、そちらで考えていただくことになるだろうと思います。あと他にございませんか。

○佐川晃委員 行政だからどうしても今すぐに行くことはできないということのほうが多いとは思いますが。ただ簡単にできる小さな積み重ねも必要なものではないかと思うので、遠藤さんの提案のようなことであれば簡単にできるのではないかと思ったところでした。

○小松京子委員 土日に道の駅の秋祭りに行ってきました。前に入っていたチラシを見た

らハロウィンの仮装をしてきた子どもにはお菓子をあげるというイベントがあるとのことでしたが、中に行ったら売り場のお客さんがいっぱいどこで何をやっているかわからない。ドンパン娘の踊りがあるからぜひ見にいったと言われて、一緒に踊ればいいと思っていたがドンパン娘がたった4人しかいなくて、観客もぼつぼつとしかおらず、他と比べると寂しいと思いました。せっかく見に来て参加したいという気持ちが失せてしまった。せっかく構想を立てて実施していこうとしているのに追いついていないように感じました。周知も足りていないのではないかと。イベントについては私自身もこれからこんなことがあるよと他の人に教えていこうと思うが、例えば老人クラブとかそういったところで周知することで知ってくれる人が増えるのではないかと。

○会長　今回は周知が足りなかったかもしれませんが、継続は力なりで毎年続けていけば、段々と口コミで広がっていくこともあるでしょう。

○遠藤まき委員　イベントについては道の駅で働いている人たちがイベントを周知できる体制づくりが必要なのではないかと。

○会長　他に皆さんご質問等よろしいでしょうか。  
(なし)

ないようです。これから道の駅やイベントの知名度を段々と上げていけるように、推進委員会の方々にも更なるご協力をいただきながら頑張ってもらいたいと思います。それでは次の協議に移ります。

続きまして、「(2) 東部地区地域協議会合同研修会及び交流会」について、事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）  
資料に基づき説明

○会長　ただいま事務局からご説明がございました。過去二年コロナの関係で、ずっと中仙が当番ということで保留になっております。今年こそはだいぶ落ち着いてきたのでやればよいなという気持ちではありますが、もし却下となりますと、私の代は無しということで、私としましては気持ちがとてもすっきりしますがいかがでしょうか、ご意見等ございましたらお願いします。

○伊藤悟委員　総勢で何名くらいの参加ですか。

○事務局（地域活性化推進室）

全員が出席とすると、協議会委員だけでおよそ45名程度でそれに職員を入れて60名程度だと思われまます。ただし、例年開催地以外の協議会委員の出席率は低い状況ですので、

大体40名弱の出席になるのではないかと思います。

○高橋和政委員 開催時期は毎年1月くらいと決まっているんですか。

○事務局（地域活性化推進室）

時期はまちまちで3月に開催することもありました。コロナの感染を避けての開催を検討した結果、この時期になってしまいました。

○会長 三地域で持ち回りで開催するものですが、たまたま中仙が今回あたっているという事です。まずは開催することよろしいでしょうか。

（異議なし）

よいということで、この件についての協議を終わります。

○事務局（地域活性化推進室）

今の時点ではまだ先の話ですので、12月に改めて通知をお送りしたいと思いますのでよろしくお願いします。

○会長 続きまして報告に移りたいと思います。それでは、次第6「(1)令和3年度地域枠予算活用事業について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

資料に基づき説明

○会長 今事務局からご説明がございました。質問、意見等ございませんか。

（なし）

ないということですので、「(1)令和4年度地域枠予算活用事業について」の報告を終わります。また、「(2)中仙支所各課所管の事務事業等について」担当各課からご説明をお願いいたします。

○支所長

鈴木市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

藤原農林建設課課長（以下「農林建設課長」と表記）

中仙公民館長（以下「中仙公民館長」と表記）

資料に基づき説明

○会長 ありがとうございます。ただいま各課から説明がありました。これについて質問、意見ございましたらお願いします。

○今野貴美子委員　長野分館を何度か利用していますが、屋根の錆びがとても気になります。直すにしても優先順位があるのかなと思いますので、予算を交渉して順番を待っているのかなと考えています。あそこは災害時の避難場所にもなっていますが、別の構想があるのでしょうか。

○中仙公民館長　毎年予算要求を行っているが、予算がついていない。また雨漏り等もある。建築後30年は経過しているので、今後も要求していきたい。

○会長　ほかにございませんか。

(なし)

ないようですので、次第6を終わらせていただきます。

次に次第7「その他」に移ります。委員の皆さん、支所各課の皆さん、なにかございますでしょうか。

○高橋和政委員　サキホコレについては、そろそろ収穫時期でPRしなければならないという前提があると思うんですが、道の駅でお客さんに大々的にPRする機会を作れないかと思うんです。我々も食べたことがないので、関係各所にお話してもらえればと思います。

○小松正樹委員　サキホコレは、まずは地元の人が食べて味を知ってもらうことが必要だと思う。道の駅に限らず色々ところでPRしていったほうがいい。

○高橋和政委員　道の駅や物産中仙で積極的に販売することはできないのか。都会向けで売り出しているようではあるが、まずは地元の人が食べる機会を作ったほうがよいのではないかと思っている。都会の人からは、あきたこまちはいいからサキホコレを送れと言われるが自分だって食べたことがなく、味がわからないのに送ることはできない。

○小松京子委員　あきたこまちはおいしいと思うがサキホコレは冷めてもおいしいということでした。私たちも味がわかればPR方法も思い浮かぶのではないかな。

○遠藤まき委員　昨年度アルヴェで抽選に当たった人がおにぎりをふるまっていたようにした。

○会長　そのような輪が広範囲に広がればいいと思いますが、小松正樹さん、中仙の農協理事ですので、JAに持ち帰っていただいて検討していただければと思います。ほかにございますか。

○事務局（地域活性化推進室）

拠点構想については、これまで地域協議会の皆さまから協議会での自主的審議案件とし



て取り上げていただいて審議していただけてきました。この度、推進委員会が設置されたことから、地域協議会からも代表として遠藤委員から参加していただき、今後の拠点構想は推進委員会を中心となって進めていくこととなります。地域協議会では、地域の課題解決、地域のまちづくりについて審議していただいており、これまで地域の課題を解決するために道の駅を地域の拠点にするということでご審議いただけてまいりましたが、推進委員会で今後進めていくということまで形を作っていたということ、今後も道の駅の拠点構想については報告を続けていきたいと思っておりますが、今後審議すべきその他の課題等やまちづくりについて、委員の皆さまからご意見を頂戴したいと考えておりますがいかがでしょうか。

○会長 皆さんいかがでしょうか。道の駅の拠点については今後推進委員会をメインにするということで、地域協議会からは代表が参加するほか今後は報告があげられ、意見、アドバイスしていくという形に移行していくことでよろしいでしょうか。そして新しい協議案件を見つけていくということです。新年度から協議に入るということで良いでしょうか。

#### ○事務局（地域活性化推進室）

推進委員会もまだ立ち上がったばかりであり、今しばらくは地域協議会でも拠点構想に注力していくということも可能ですし、これまで道の駅だけに目を向けすぎていたけれどそれ以外の課題やまちづくりについて検討が必要なものあれば、協議会として審議することができると思います。

○会長 今この場で頭を悩ませるのではなく、時間はありますので持ち帰ってじっくり考えてみるというのもいいかもしれません。よろしいでしょうか。ほかにございませんでしょうか。

○小松正樹委員 協議会とは関係ありませんけれども、中仙地域は分館が6つあり、多いということで集約するという話が聞こえてきている。そういった話は出ているか。

○中仙公民館長 分館もそれぞれ年数がだいぶ経過しているところもあり、市では公共施設の見直しを行っていて将来的に集約する話は出ている。見直しも検討しているところであるが今すぐ集約するというわけではない。

○会長 ほかにございませんか。

(なし)

ないようですので、次第7を終わらせていただきます。

以上で、本日子予定されておりました案件等の審議は終了となります。これをもちまして令和4年度の第3回地域協議会を終了したいと思います。

ありがとうございました。  
皆様お疲れさまでした。

(午後 3 時 3 5 分 閉会)

---

中仙地域協議会運営規程第 7 条第 2 項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

---

---